

事業報告

(2014年4月1日から2015年3月31日まで)

【事業概要】

〔財団設立経緯等〕

似鳥昭雄(株式会社ニトリ代表取締役社長)は、アジアからの留学生を支援する「似鳥国際奨学財団」を文部科学省の許可(許可日2005年3月15日)を得て、私財にて設立致しました。株式会社ニトリ(現:株式会社ニトリホールディングス)は欧米並みの豊かな住生活を日本国民および世界の人々に提供することを目的に、商品の原材料を主にアジア諸国に求め、同諸国の人々により生産された製品を輸入して、現在まで事業を拡大して参りました。

アジア諸国の人々の多大なご支援に感謝し、今後の同諸国の発展を願って、国づくりの基本となるアジア諸国の人材育成に寄与するため、財団の設立を致しました。

また、内閣府へ公益財団への移行申請を行ない、2009年10月1日に公益財団法人となりました。

移行後はさらに少しでも多くの方々に寄与したいという思いから、対象範囲をアジア諸国から世界各国へ広げ、留学生への支援を行なっております。

本財団は世界各国からの留学生のうち、志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して「奨学援助」を無償で行い、もって、世界各国間およびわが国との国際友好親善並びに人材の育成に寄与することを目的とし、世界各国からの留学生97人に1ヶ月11万円の奨学金の支給を行なっております。

また、2012年度から開始しております東日本大震災で被災された高校への支援として、3年生394名、2年生513名に1ヶ月1.5～3万円の奨学金の支給も行なっております。

さらに今年度からは海外(台湾・ベトナム)にて奨学金支給事業を開始しております。

今後ともさらに充実した活動を行い、微力ながら世界各国の人材育成に寄与したいと存じます。

以下、公益財団法人としての6年目の当年度事業の実施状況をご報告申し上げます。

I. 事業の状況

1. 奨学金支給事業

【留学生部門】

(1)2014年度奨学生の奨学金支給

97名の奨学生へ奨学金を支給致しました。

奨学生の内訳は以下の通りになります。

【大学別】

東京大学	10名
早稲田大学	9名
名古屋大学	8名
大阪大学	8名
一橋大学	6名
京都大学	5名
筑波大学	5名
信州大学	4名
関西学院大学	3名
神戸大学	3名
高崎経済大学	3名
宇都宮大学	3名
千葉大学	3名
同志社大学	2名
名古屋工業大学	2名
明治大学	2名
東京工業大学	1名
奈良女子大学	1名
横浜国立大学	1名
電気通信大学	1名
中央大学	1名
金沢大学	1名
武蔵野美術大学	1名
慶応義塾大学	1名
東北大学	1名
関西大学	1名
大阪産業大学	1名
東京女子大学	1名
広島大学	1名
静岡県立大学	1名
奈良先端科学技術大学院大学	1名
豊橋技術科学大学	1名
東京農工大学	1名
明治学院大学	1名
学習院大学	1名
埼玉大学	1名
首都大学東京	1名

【国別】

中国	46名
韓国	13名
ベトナム	8名
台湾	7名
インドネシア	3名
モンゴル	3名
インド	3名
アメリカ	2名
ラオス	2名
ミャンマー	2名
スリランカ	1名
カンボジア	1名
オーストリア	1名
ネパール	1名
マレーシア	1名
カメルーン	1名
イラン	1名
カナダ	1名

【学部・院別】

学部生	33名
大学院生	64名

【性別】

男	62名
女	35名

(2)奨学生の退会

本期間、奨学生途中退会は以下の通りになります。

8名(秋卒業)

(3)奨学金の支給

本期間、奨学生97名に対し、1人月額11万円の奨学金を支給致しました。

(奨学金合計 12,505万円)

(4)住宅費補助金の支給

本期間、上記奨学生のうち20名に対し、1人月額4万円の住宅費補助金を支給致しました。

(住宅補助金合計 816万円)

(5)2015年度奨学生の選考及び結果

2015年3月18日開催の奨学生選考委員会にて84名の奨学生が決定致しました。

【東日本大震災被災高校生部門】

(1)2014年度奨学生の奨学金支給

907名の東日本大震災で被災された高校2年生と3年生へ奨学金を支給致しました。
奨学生の内訳は以下の通りになります。

【地域】		【性別】	
宮城県	324名	男	437名
岩手県	443名	女	470名
福島県	129名		
県外へ避難	11名		

(2)奨学生の退会

本期間、奨学生途中退会は以下の通りになります。
8名(辞退)

(3)奨学金の支給

本期間、奨学生907名に対し、1人月額1.5～3万円の奨学金を支給致しました。
(奨学金合計 2億7829万5千円)

2014年4月～

似鳥奨学金(東日本大震災被災地高校生への支援)を
第1期生と第2期生あわせて約900名へ支給継続。



【海外奨学金部門】

(1)2014年度奨学生の奨学金支給

150名の海外奨学生へ奨学金を支給致しました。
奨学生の内訳は以下の通りになります。

〔台湾〕	台湾大学 30人 淡江大学 8人 東海大学 7人 台北科技大學 5人
〔ベトナム〕	ハノイ大学 10人 貿易大学 10人 国民経済大学 10人 ハノイ工科大学 25人 ハノイ産業大学 25人 ハノイ工業美術大学 10人 ハノイ公開大学 10人

※ 大学名は日本語訳

(2)奨学金の支給

本期間、台湾の奨学生50名に対し、1人年額100,000TWDの奨学金、
ベトナムの奨学生100名に対し、1人年額13,000,000VNDの奨学金を支給致しました。
(奨学金合計 日本円で約2,670万円相当)

2. 交流事業

本期間、交流事業として以下の事業を実施致しました。

2014年 4月5日

2014年度入団生 入団式

新奨学生59名、継続生40名及び、OBOG31名が出席し、株式会社ニトリホールディングスの
東京本部にて入団式を行いました。

新奨学生59名は中国をはじめ、11カ国出身の大学生、大学院生で構成され、
出身大学は全国各地の主要大学の学生が揃いました。

そして、OBOGと新奨学生の交流の一環として、屋上の満開の桜の下で懇親会を行ない、卒団生
から新奨学生に生活面でのアドバイスを送るなど、交流を深める有意義な時間となりました。

奨学生からはカメルーン、イラン、カンボジアの民族舞踊、中国の歌が披露されました。



入団証書授与



奨学金贈呈式の様子



桜の木の下で集合写真



満開の桜の木の下での懇親会



カメルーンの奨学生による民族舞踊



イランの奨学生による民族舞踊

9月21日 10周年記念式典

2005年に設立されてから、似鳥国際奨学財団が設立10年目になりました。
東京プリンスホテルにて、似鳥国際奨学財団10周年記念式典を行いました。
現役財団生、OBOG195名、来賓32名、合計227名のご来場となります。
10年を振り返るビデオの上映、OBOG、現役生によるスピーチ等が行われ、みんなで財団の10歳誕生日を祝いました。
式典後の懇親会では、卒団したOBOGと現役生、先輩・後輩間の交流を深める有意義な時間となりました。
また、カメルーン出身のOBと現役生がコラボしたダンス、イランの民族舞踊、代表理事のカラオケ等が披露されました。



交流会の様子



参加者全員での集合写真



財団生・OBOGより民族舞踊を披露



財団生・OBOGより研究成果の発表

2015年 3月5日～11日 アメリカセミナー

2015年3月卒団予定者68名のうち、50名の希望者が5泊7日のアメリカセミナーに参加しました。
現地のモデルハウス、「チェーンストアの王様」として知られるウォルマートや、ターゲット等の見学・視察を行い、アメリカの豊かな暮らしを体感しました。
また、現地での交流会を通じ、卒団前に皆さんの絆を深めるいい思い出ができました。



その他:

『インターンシップ』(東京)

日本で就職希望の奨学生に対し、日本人学生と同じインターンシップに参加してもらいました。
同世代の日本人学生と交流しながら、仕事体験や異文化コミュニケーション、ビジネスマナーの体験などのプログラムを通じ、実社会で役立つ知識を学びました。

『10周年記念MOVIE』作成

10周年記念式典で、財団の10周年の成長を記録した小ムービーを放映し、OBOG、現役財団生の皆さんで、この10年を振り返ってみました。

『財団紹介VTR』作成

更に多くの方に財団を知ってもらいたい、財団の一員になってもらいたいという思いで、財団紹介VTRを作成しました。

VTRに、OBOG2名、現役財団生11名に出演してもらい、各自の財団との思いを語ってもらいました。

『似鳥国際奨学財団新聞』発行

奨学生からテーマ(自分の研究の進捗と社会貢献度、アルバイトの経験談、新年の抱負、後輩へのメッセージなど)に沿ってレポートを提出してもらい、新聞としてとりまとめ、奨学生へ配信しております。

『facebook』の活用

奨学生及びOBOGの方々との交流を深めるために、facebookを活用しております。
国内のみならず世界中の財団生とのつながりを持つことが可能になりました。

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

(1)2015年3月31日現在の役員

2015年3月31日現在の本財団役員は以下の通りになります。

役職	氏名	職名
代表理事 理事	似鳥 昭雄	(株)ニトリホールディングス代表取締役社長
	長内 順一	
	安藤 隆春	(株)ニトリホールディングス社外取締役
	大谷 喜一	(株)アインファーマシーズ代表取締役社長
	柴 洋二郎	(株)オリエンタルランド取締役
監事	寺田 和正	(株)サマンサタバサジャパンリミテッド代表取締役社長
	田中 新一	田中新一事務所所長、公認会計士
評議員	似鳥 靖季	(株)ニトリパブリック取締役
	似鳥 百百代	
	高向 巖	札幌商工会議所会頭
	田中 正巳	医療法人札幌田中病院理事長
	橋本 昭夫	弁護士
	佐藤 良雄	キャリアバンク(株)代表取締役社長
	多田 康郎	(株)ティーアンドエヌ北海道設計事務所代表取締役社長
	名越 隆雄	名越税務会計事務所代表
	青木 雅典	(株)ホーム企画センター代表取締役会長 北海道日中友好協会会長

2. 会議に関する事項

(1)理事会

2014年 4月5日	第1回理事会	東京
2014年 11月25日	第2回理事会	東京
2015年 2月25日	第3回理事会	東京

(2)評議員会

2014年 6月3日	第1回評議員会	札幌
------------	---------	----

(3)奨学生選考委員会

2015年 3月18日	2015年度奨学生選考委員会	東京
-------------	----------------	----

3. その他の事項

ホームページ更新 (2015年度奨学生募集など)

<http://www.nitori-shougakuzaidan.com>